

尊敬するプーチン大統領閣下

プーチン大統領閣下には、日本海に面した対馬という地名をご記憶のことと思います。私たちの島、対馬は朝鮮半島からわずか 50 キロ南に位置し、ユーラシア大陸の西から東へ海路で抜ける交通の要所に当たる、自然と豊かな島であります。この島はとくにロシアと日本の関係においても重要な歴史を刻んでおり、とくに私たちが住む上対馬の西泊地区には日本とロシアの友好を記念する場所・殿崎（とのざき）があります。

この地はかつてバルチック艦隊が日本と激闘をした場所でした。1905 年の対馬沖海戦では、日本側 117 名、ロシア側 4830 名が亡くなり、多くの方が負傷されました。とくにここ殿崎の地からは、沈みゆくロシア艦船ウラジミール・モノマフ号の 143 名が西泊に上陸しました。私たちの祖先はロシア兵の方々を手厚くもてなし、全員のロシアへの帰還を実現しました。いま、この地には日本人、ロシア人の分け隔てなく、戦争で犠牲になった方々全員の名前を刻んだ記念碑があり、私たちは長い間、この地で平和のためのお祈りを捧げ、日本とロシアの末永い友好を祈念してまいりました。

この 2014 年 5 月 27 日、今年もまた例年のように慰霊祭をとりおこないましたが、在日ロシア大使館の領事の方もご参加くださり、日本とロシアの二つの国旗のもとお祈りを捧げました。

振りかえれば、日本とロシアはその後、1945 年にもう一度、戦争をし、いまだ平和条約が締結されないまま、不正常な状態が続いています。そのせいでしょうか、日本とロシアの関係は廻りの国や様々な世界情勢に左右されやすく、安定的な二カ国間関係をつくることがいまだできていないように感じます。私どもには国際的な複雑な事情はよくわかりませんが、日本とロシアの関係がきちんとなされないまま今日に至っているのはとても残念に思います。

しかしながら、私たちはいかなるときでも、この地で祖先たちが 100 年以上前にロシアの兵士の方々と結んだ友情をはぐくみ、今日まで育ててきました。そして未来においても私たちの友情に揺らぎはありません。ロシアのツシマ会(全露ツシマ参戦家族会)の方々ともこれまで親しくおつきあいしましたし、今後はペテルブルグの関係者のみなさまとも交流が広がればと考えています。これら上対馬のささやかな経験と交流がロシアと日本の新しい関係づくりの一助に資すれば望外の喜びです。

来年 2015 年は、当時から 110 周年にあたることもあり、特別な記念行事も計画しています。なにとぞプーチン大統領閣下にも日本訪問の折には、一度、上対馬の地に足をお運びいただき、ここに眠るロシア兵と日本兵たちをわたしどもと一緒にご祈念いただければとの思いに至り、筆をとった次第です。このメッセージをリポフ参事官に託します。ぜひ私たちの友情の声をプーチン大統領から全ロシア国民にお伝えいただける機会を賜りたく、ここに強くお願い申し上げます。



2014 年 5 月 27 日

日本海（対馬沖）海戦慰霊祭実行委員会
実行委員長（西泊区長）

小宮 大智
KOMIYA PAICHI